# 水米の 〜農家からの挑戦



代表理事 企業組合津島あぐり工房 由美 (宇和島

る事が出来ません。①農家女性として経 時でした。永遠としゃべり続ける私 た事がありました。長女が中学二年「お母さんの夢は何?」と娘に聞 次世代に残したい。この二つを大きな目 済的自立をしたい。②地域の伝統の味を 気がしてドキッとしたことを今も忘れ い訳を30分語るんだって。」と。試された 開催された講演会に行ってきた彼女は、 「人は夢を3分で語って実現できない言 で彼女は笑っていました。地域 「お母さんの夢は何?」と娘 農産加工施設「津島あぐ 0 单 の横 生 か

「津島あぐり工房」

立ち上げ当時(平成15年)

を持ち、 味 地域に残る手作り麦 として持ち寄り奮起。 なしのお金を出資金 来ました。当時、 成26年で12年目。明 つひとつクリアして 確な目標を掲げ「夢」 0) 噌を製造の柱とし、 味噌を使った焼 着実にひと お菓子を

> いる、そんな思いから「津島あぐり工房」生み出す「農」に携わる私たちが担ってを残してやりたい。その役割を、「食」を ても思い出す「家庭の味、ふるさとの味」 の。子どもたちが成長しふるさとを離れ 思っています。失われつつある大切なも 食事こそが子供の心を豊かに育てると も変わっていかない。手間暇かけて作る を立ち上げたのです。 わり命を預かる台所が変わらなければ も様々ですが、私たち親世代の意識が変 た。「食育」が盛んに言われその 製造販売することからスタ Ì 取り組み しまし 何

食材の消費拡大に繋げていきたい。そし

に貢献したい。そんな風に夢が広がって て、それらの販売を通し、地元の活性化 者と交流を深め、

米をはじめとする地

り工房」を立ち上げ平

スペースと、の商品や総菜 て本格稼働です。手作りの加工品等従来 を兼ねそなえています。「作る食事」から ンチを提供するイートインのスペース ェ部門をオープン。「女性の自立」へ向け あぐり工房』として再出発。同時にカフ して来た農産加工施設を『企業組合津 「買う食事」へと変化している今、 商品や総菜、米粉パンなどを販売する 平成24年8月。法人格を持たずに活 地域の食材にこだわったラ 島動

> すも私たちと。という思いを込めて店 きませんか。きのう・きょう・そしてあ

名前を『あすも』と名付けました。

取り戻しませんか。

良いものは残してい

私たちと昔ながらの生活習慣や食文化を

ていくと言われ変化の速度が速い現代、 きました。1年が10年のスピードで過ぎ

り戻っながらの大切にし、 物を使用 らり 元 いたい。 0) 農水産 地

● \$5 € ·

「企業組合津島あぐり工房」設立、同時に 店舗部門「あすも」オープン

# 学びから広がるネットワーク 仲間、生きがい、誇り~

## 愛媛大学で出会った仲間



仲

間たち

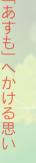
0

をいただきましたが何より心強かったら起き地域再生マネージャー」としての称号でいただきましたが何より心強かったのをいただきましたが何より心強かったのをいただきましたが何より心強かったのを「愛媛県内での大きせん。一年間の学びの後「愛媛大 れないと思うのです。出会うべ業についてまだまだ躊躇してい と同 たくさんの学びを得たことは言うまでも ントスキル修得講座を受講。その場 ちは新たな私の目標になりました。 か 時に愛媛大学農学部の地域マネジメ す力があります。巡り合った人た 葉には重みと説得 てまだまだ躊躇していたかも その仲間 の 存在は私の宝 、くして出 そし それ 所で て人

伝ってもらっています。高齢者、障害者得ながら利用者さんに麦味噌づくりを手の障害者施設の職員さんたちのご協力を内に平成25年6月に移転し再稼働。地域農産加工施設をあすもの店舗と同じ敷地 もなっています。今では加工部門にと働く姿は時に怯みそうになる私の そんな括りではなく「地域 きる」そんな感覚です。 け替えのない存在となっ 今では加工部門にとっ 彼らの の中で共に 7 生き生き ま

になり

ま



うことで女性は持っている以 て自立 代に つあ 業したことで私たちは大変なリス 0 いました。しかしリスクを背負 地時 域の食文化を残したい。女性でも私の意匠は変わりません。り、へかける思い 一をしたい。この二つなので 0) 力を



ました。

先を走

た、起業するに当たり先進

り合 1)

地域の中で共に(中村知事との一枚) て 害がも働 3 け そし る高 たく

と提働の人障所て 齢だん代で でしてし 0) ま お だ 母同 ま 活力を産み、再生させるのだと実感して想、それに伴う行動力。その力が地域には女性が輝いています。女性の柔軟な発発揮できると思っています。今、地域で けること、歩みを続けること。女性の力それは継続すること。その思いを語り続 います。 を最大限に生かし、夢に向

かって歩みを

夢を実現させる成

功

への近道。

考えて 信を持つ てに迷いながらも「絶対大丈夫!」と自たちですが、自分の夢を追いつつ、子育 を見て子は育つ。」やんちゃ た娘も大学生になりました。「親 後に、「お母さんの夢 て言える親になりたいといつも いつの時代も変わらな 何? いつつ、子育な二人の娘の背中 と尋



の押がんた来明供

私ないをるたす。<br/>
る思はが親を思。<br/>
残いち。<br/>
かっあそ子<br/>
後いそし未へ子らてるこの<br/>
押がんた来明供でいとに絆

同年代のスタッフと